

救急受け入れの強化、円滑な入退院支援を。  
より丁寧な、患者さん・地域のための  
医療を実現します

—布袋病院長より新年度のご挨拶—

地域の先生方との結びつきをより深める 2026 年度に



病院長 布袋 祐子 *Futei Yuko*

日頃より、各医療機関の先生方ならびに職員の皆様には、格別のご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

当院を取り巻く医療環境は依然として厳しい状況が続いておりますが、こうした中でも地域の医療ニーズに応え、質の高い医療を提供するとともに、持続可能な病院運営をめざして前進してまいります。特に、今年度の診療報酬改定は、急性期医療にとってプラスとなる部分もある一方、より厳しい条件を伴う改定も含まれております。

当院では、救急受け入れの強化や円滑な入退院支援の充実を図りながら、柔軟かつ前向きに対応してまいります。

また、医療 DX やタスクシェアといった取り組みを着実に進めるとともに、働きやすい環境づくりにも取り組んでまいります。昨年度はDX 推進プロジェクトを立ち上げ、現場の声を積極的に吸い上げるボトムアップ型の仕組みも整えました。職員の負担軽減を図りながら、より丁寧で患者中心の医療の実現をめざしております。さらに、専門性の向上に加え、人間力やチームワークの醸成、次世代を担う人材の育成にも力を入れてまいります。

社会情勢が流動的で不安定な中だからこそ、変化に強く柔軟に対応できる組織作りがこれまで以上に重要です。当院は掲げたパーパス「患者さん、地域のために持続的な健康と幸せを」の提供を実現すべく、職員一同、一丸となって邁進してまいります。

引き続き、ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくごお願い申し上げます。



# 第18回 みんなで考えみんなで支える地域づくりの会を開催



2月25日、当院と河北総合病院、杏林大学医学部付属杉並病院のMSWや退院支援看護師が世話人となり、今回のテーマ「身寄りのない方及び医療に関わる意思決定が困難な方に対する地域協働支援」について話し合いました。当院に約100名が参加し、独居の高齢者や家族と疎遠な方が退院する際の不安や現実について、成功事例や工夫を共有しました。

## カンファレンス開催のご報告

### 第15回 荻窪消化器カンファレンス

3月3日(火) 当院にてハイブリット開催

放射線科 織原衣利医師による「当院におけるドレナージ症例」、外科 竹ノ谷隆医師による「稀な内ヘルニアによる腸閉塞に対する腹腔鏡下手術」、内科部長 中村雄二医師による「印象に残った消化器疾患」について症例と共にご紹介しました。



### 第1回 荻窪産婦人科カンファレンス

3月10日(火) 当院にてハイブリット開催

初の荻窪産婦人科カンファレンスを開催しました。2025年7月より導入した無痛分娩について玉川真澄医師より、腹腔鏡下仙骨陰固定術の導入について原田祐一医師より、2024年10月に当院が認証されたNIPT(新型出生前検査)については医長 吉田俊輔医師がご紹介しました。

—ご参加いただき、ありがとうございました

## 医師の入退職をお知らせします

Ogikubo Hospital's Information

入職医師につきましては、後日、改めてご紹介申し上げます。

**退職** 3月31日付 大変お世話になりました。

- ◆ 初期臨床研修医 佐々木有未
- ◆ 放射線科 織原衣利
- ◆ 整形外科 谷田貴
- ◆ 産婦人科 玉川真澄
- ◆ 消化器内科 王婉

よろしくお願いたします。4月1日付 **入職**

- ◆ 初期臨床研修医 池元杏美
- ◆ 放射線科 孟璋
- ◆ 整形外科 奥島貴之
- ◆ 外科 白川峻佑
- ◆ 循環器内科 芝崎太郎
- ◆ 消化器内科 河嶋健英

ご紹介・ご相談は

荻窪病院 地域連携室

発行：2026年4月

月～金 8:30～17:30 土 8:30～12:00 TEL 03-3399-0257 FAX 03-3399-0258 〒167-0035 東京都杉並区今川 3-1-24